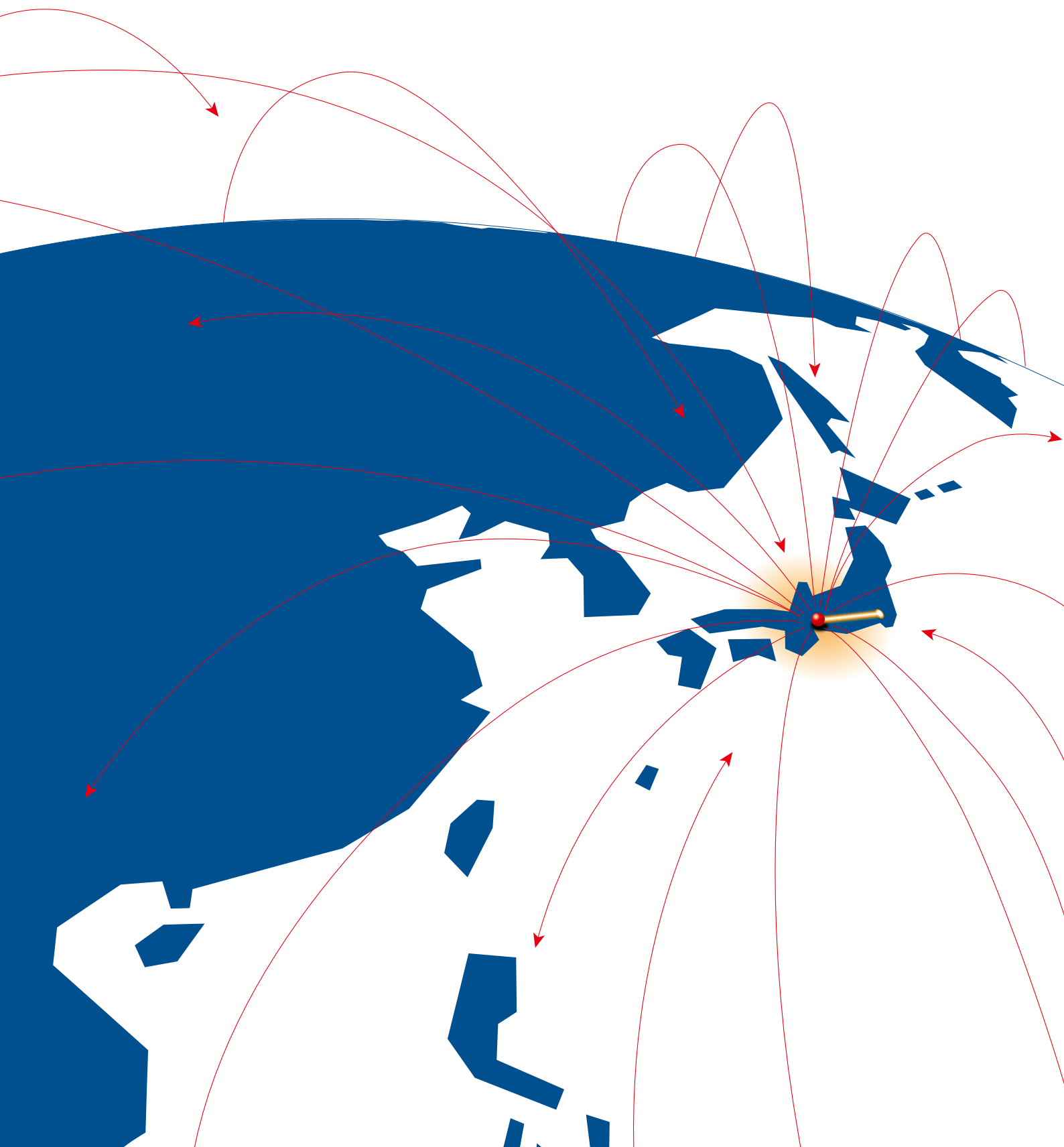


AICHI VISION 2020

あいちビジョン 2020



CONTENTS

はじめに	1
I 2030年の社会経済の展望	
1. 未曾有の超高齢社会・人口減少の進行	2
2. アジアが牽引する世界経済とグローバル化の進展	3
3. 災害リスクの増大と環境・エネルギーリスク	3
4. リニア中央新幹線開業のインパクト	3
II めざすべき愛知の姿	
1. リニアを生かし、世界の中で存在感を発揮する中京大都市圏	4
～5千万人リニア大交流圏の西の拠点として、人、モノ、カネ、情報を呼び込む大都市圏	
2. 日本の成長をリードする産業の革新・創造拠点	5
～企業や人材が集まり、革新的な技術の創出や成長産業への展開が進む最強の産業県	
3. 安心安全で、誰もが夢と希望を抱き、活躍する社会	6
～人が輝き、女性や高齢者、障害のある人など、すべての人が活躍する愛知	
III 2030 年に向けた地域づくりの戦略と基本目標	7
1. 中長期的な展望を持った地域づくり	
2. 経済活力と豊かな暮らしの好循環	
3. 「あいちビジョン 2020」の基本目標	
IV 重要政策課題と主要な政策の方向性	8～11
重要政策課題① 中京大都市圏 ～5千万人リニア大交流圏の西の拠点となる大都市圏に向けて	
重要政策課題② グローバル展開 ～世界から活力を取り込める地域に向けて	
重要政策課題③ 産業革新・創造 ～日本の成長をリードする最強の産業県に向けて	
重要政策課題④ 農林水産業 ～競争力ある農林水産業に向けて	
重要政策課題⑤ 文化・スポーツ・魅力発信 ～世界から人を惹きつける魅力ある大都市圏に向けて	
重要政策課題⑥ 教育・人づくり ～前向きに挑戦し、キャリアアップできる人づくりに向けて	
重要政策課題⑦ 女性の活躍 ～女性が元気に働き続けられる社会に向けて	
重要政策課題⑧ 子ども・子育て応援 ～少子化の流れを変える社会に向けて	
重要政策課題⑨ 健康長寿 ～「人生 90 年時代」を健康に生きられる社会に向けて	
重要政策課題⑩ 障害者支援 ～身近な地域で共に暮らせる新しい社会に向けて	
重要政策課題⑪ 防災・防犯 ～災害や犯罪に負けない、強靱な県土・安全なまちづくりに向けて	
重要政策課題⑫ 環境・持続可能まちづくり ～100 年持続可能な次世代のまちづくりに向けて	
V 地域別の取組方向	12～13
尾張地域	14～17
西三河地域	18～21
東三河地域	22～25
VI さらなる交流の基盤となる道路ネットワークの整備	26～27
VII 最近のあいち	28～29



はじめに

グローバル経済の進展や新興国の台頭など、世界規模での大都市圏間競争がますます激しくなっています。わが国が本格的な人口減少・高齢社会に突入する中であって、高いポテンシャルを持つ大都市圏が日本全体の発展をリードし、世界との競争に打ち勝っていかなければなりません。

そうした中で、2027年度に予定されているリニア中央新幹線の東京―名古屋間の開業は、わが国の大都市圏構造を変える大きなインパクトがあり、愛知が大きく飛躍するためには、これを最大限生かしていく必要があります。

一方で、本県も、2020年頃が人口のピークとなることが予想され、今後高齢化が急激に進行します。また、東日本大震災を機に防災やエネルギー面などでの大幅な政策の見直しが迫られる中、安心安全で持続可能な社会を築いていかなければなりません。

こうした認識のもと、中長期的な観点から愛知の進むべき方向性を明らかにすべく、2014年3月に「あいちビジョン2020」を策定いたしました。

このパンフレットは、ビジョンに示した、めざすべき愛知の姿や基本目標、それを実現するための政策の方向性などをわかりやすくご紹介するものです。

県民の皆様をはじめ、国、市町村、企業、各種団体など、関係の方々とともに新しい愛知の地域づくりに取り組んでまいりたいと考えていますので、一層のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

愛知県知事
大村秀章

策定趣旨・目的

リニア中央新幹線（東京・名古屋）の開業後の2030年頃を展望し、2020年までに取り組むべき重点的な戦略を明らかにするとともに、県内各地域の取組方向を示すものとして策定しました。

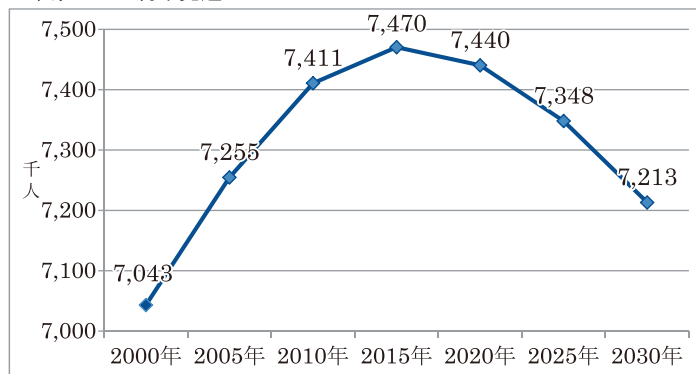


I 2030年の社会経済の展望

1. 未曾有の超高齢社会・人口減少の進行

- ◆ 愛知県の人口は、直近の人口動向を踏まえると、国立社会保障・人口問題研究所の推計よりも先の2020年頃にピークを迎えることが想定されます。
 - 2030年の生産年齢人口（15～64歳）は、438万3千人と2010年の483万9千人に比べて約10%減少する一方、老年人口（65歳以上）は2030年には199万5千人と2010年の150万6千人に比べて約32%の大幅な増加が見込まれます。
 - 2030年の愛知県の高齢化率は27.7%となり、全国の31.6%に比べれば低い水準にあるものの、今後、全国を上回るペースで高齢者の増加が見込まれます。

＜本県人口の将来見通し＞



＜年齢3区分別人口の見通し＞

単位：千人。年齢別の（ ）は総人口に占める割合：％

	総人口	年齢3区分別人口		
		0～14歳	15～64歳	65歳以上
2010年	7,411	1,066 (14.4)	4,839 (65.3)	1,506 (20.3)
2015年	7,470	1,030 (13.8)	4,651 (62.3)	1,789 (24.0)
2020年	7,440	971 (13.1)	4,561 (61.3)	1,908 (25.6)
2025年	7,348	901 (12.3)	4,504 (61.3)	1,943 (26.4)
2030年	7,213	835 (11.6)	4,383 (60.8)	1,995 (27.7)

出典：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（2013年3月推計）」

- ◆ 高齢化などに伴い、単身世帯が大きく増加し、社会の中心をなしてきた世帯の形態が核家族世帯から単身世帯へとシフトしていきます。
- ◆ 今後、わが国人口の大都市圏への集中がさらに進み、全国の中での愛知県の人口ウエイトは、2010年の5.8%から2030年の6.2%へ上昇すると見込まれています。

2. アジアが牽引する世界経済とグローバル化の進展

- ◆ 2020年代には、中国がアメリカを抜いて世界最大の経済大国になると予測されているなど、アジアが世界経済の主役を担っていくと見込まれます。
- ◆ 一方で、日本を含む先進国の成長力は低下し、世界経済の中でのわが国のプレゼンスは徐々に低下していくことが懸念されています。
- ◆ 世界経済の相互依存関係がさらに深化し、フラット化が進む中、企業の世界展開が加速するとともに、グローバルな人材獲得競争も一層激しくなっていくことが見込まれます。
- ◆ サービス産業のウエイトが高まるなど産業構造が変化していくことに加え、企業の流動性の高い雇用形態を求める傾向が一段と高まっていくことも想定され、産業や企業をまたぐ労働移動が今後一層拡大していくものと見込まれます。

3. 災害リスクの増大と環境・エネルギーリスク

- ◆ 30年以内にマグニチュード8以上の地震が起きる確率は70%程度と予測されるなど、南海トラフの巨大地震がいつ起きてもおかしくない状況にあり、災害時の被害を最小化する「減災」に取り組んでいくことが求められます。
- ◆ 世界的な人口増加や新興国の経済発展に伴い、資源・エネルギーの需給ひっ迫が懸念され、エネルギー供給の多様化などに取り組んでいく必要があります。
- ◆ 新興国の経済発展や化石燃料への依存などを背景に、地球温暖化の進行や生態系への悪影響等が懸念され、地域として環境負荷の低減に取り組んでいくことが求められます。

4. リニア中央新幹線開業のインパクト

- ◆ 2027年度のリニア中央新幹線の東京都―名古屋市間の開業は、国土構造に大きな変化をもたらし、愛知県の地域づくりの大きなインパクトとなります。
- ◆ リニアの開業により、首都圏との産業活動や観光面の交流が活発になることに加え、長野県南部や山梨県などリニア沿線地域などとの交流の拡大も期待されます。
- ◆ 一方で、2020年の東京オリンピック開催により、東京への一極集中がさらに加速していくことも懸念されることから、地域の強みを生かした戦略的な地域づくりが求められます。
- ◆ 東海道新幹線の活用やリニア中央新幹線の間駅の利用など、リニア開業によって生まれる新たな交通体系を最大限生かしていくことが求められます。

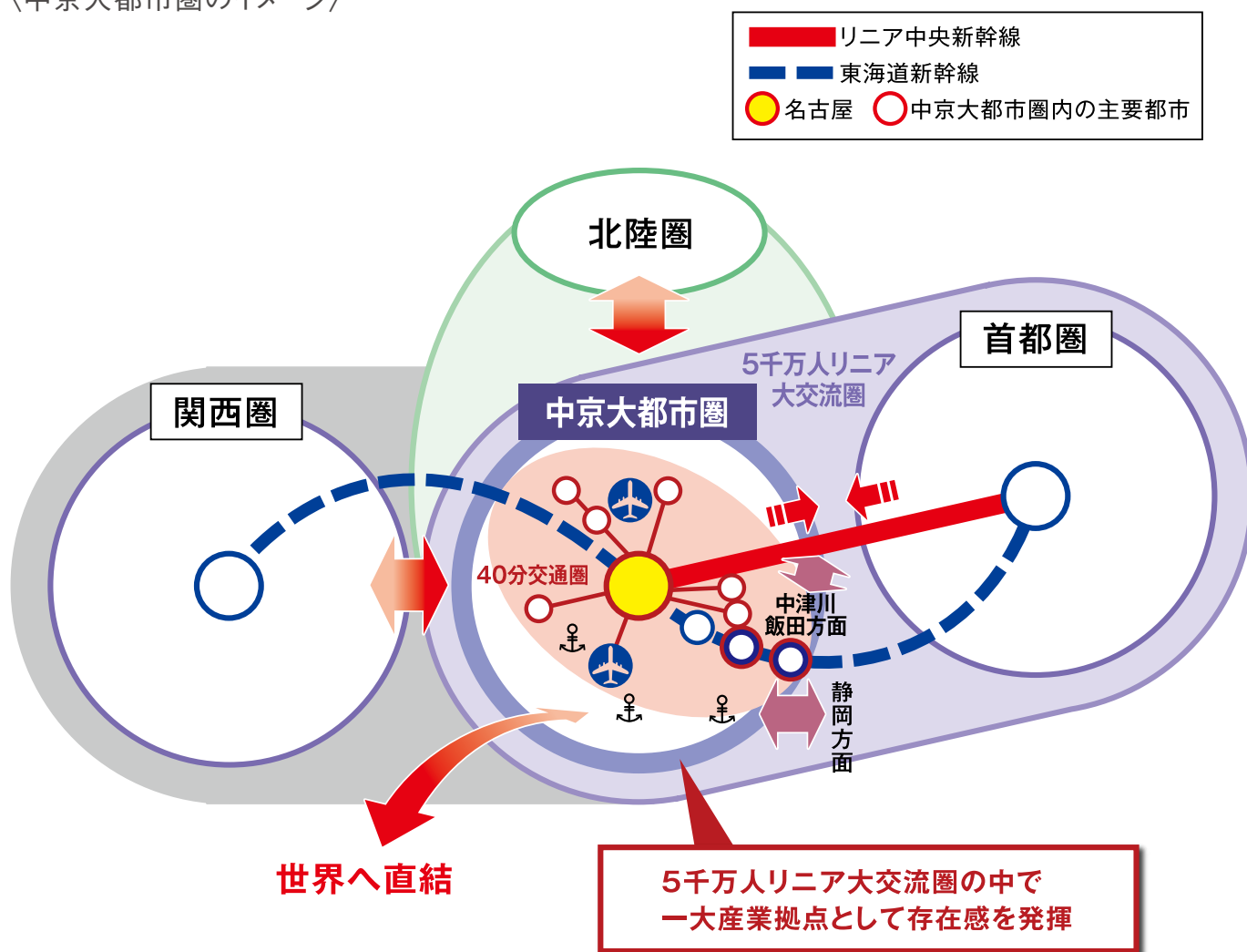
Ⅱ めざすべき愛知の姿

1. リニアを生かし、世界の中で存在感を発揮する中京大都市圏

～5千万人リニア大交流圏の西の拠点として、人、モノ、カネ、情報を呼び込む大都市圏

- ◆ 2027年度のリニア中央新幹線の東京都－名古屋市間の開業により、首都圏から中京圏に及ぶ範囲で、人口5千万人規模の巨大な大交流圏が誕生します。大阪まで開通する2045年までは、この地域がリニア大交流圏の西の拠点となります。
- ◆ リニアのインパクトを最大限に生かし、名古屋を中心に社会的・経済的な結びつきが強い広域エリア（名古屋を中心とした80～100km圏）を、「中京大都市圏」とし、首都圏の吸引力に対して独自の機能を備えながら、北陸圏、関西圏に後背圏を広げていきます。
- ◆ 中京大都市圏は、リニア大交流圏の中で、世界と直結する一大産業拠点としての役割を担っていくとともに、この地域の多様な魅力を発信しながら、国内外から人・モノ・カネ・情報を惹きつけていきます。

〈中京大都市圏のイメージ〉

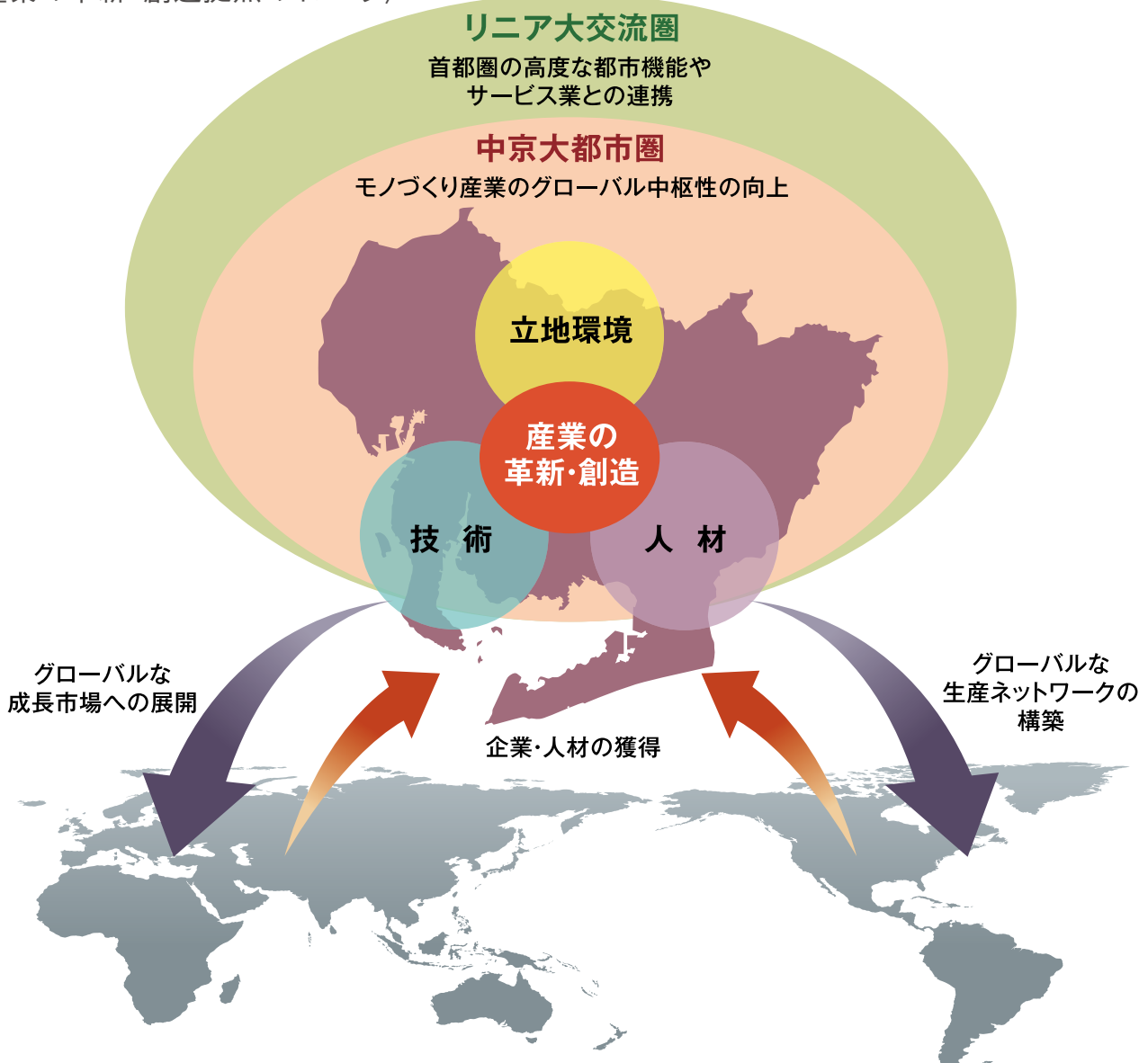


2. 日本の成長をリードする産業の革新・創造拠点

～企業や人材が集まり、革新的な技術の創出や成長産業への展開が進む最強の産業県～

- ◆ 広域道路ネットワークの整備やリニアの開業などにより、中京大都市圏の立地環境の優位性が高まる中、国内外から企業が集まり、県内で育った人材、国内外から集まった人材が切磋琢磨しながら、革新的な技術を次々と生み出していきます。
- ◆ 拡大する世界経済の中で、この地域の企業は積極的に成長市場に展開し、またグローバルな生産ネットワークを構築するなど、この地域におけるモノづくりのグローバルな中枢性が高まっています。
- ◆ さらに、リニアの開業により生まれる大交流圏の中で、首都圏が持つ高度なサービス産業等とも連携し、相乗効果が図られながら、ビジネスモデルの高度化や成長産業への展開が進んでいきます。
- ◆ こうした活発な展開のもと、産業の革新・創造拠点として、わが国の成長を力強くリードしていきます。

〈産業の革新・創造拠点のイメージ〉

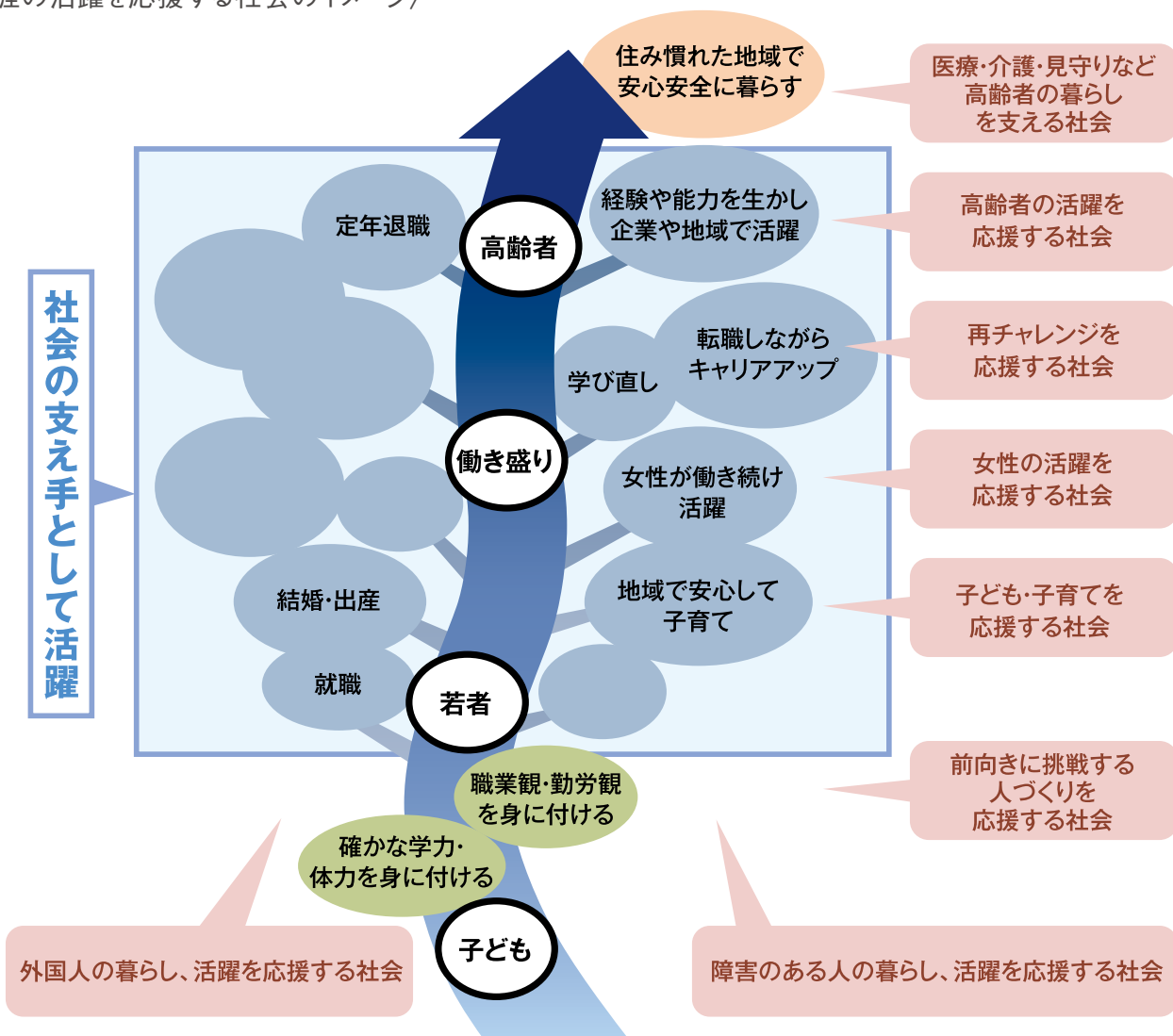


3. 安心安全で、誰もが夢と希望を抱き、活躍する社会

～人が輝き、女性や高齢者、障害のある人など、すべての人が活躍する愛知

- ◆ 人口減少社会を見据え、男女を問わず、若者から高齢者まで、障害の有無や国籍に関わらず、多様性を認め合いながら、誰もがそれぞれのライフステージにおいて活躍し、全員参加で支える社会をめざしていきます。
- ◆ 前向きにチャレンジする人が育ち、仮に失敗しても再チャレンジしながらキャリアを形成していくことができる社会、希望する人が家庭や子どもを持ち、地域全体で子育てを支える社会、女性が元気に働き続けられる社会、高齢期にも企業や社会で能力を発揮できる社会、さらには、人生90年時代を健康で安心して地域で暮らすことができる社会を実現していきます。
- ◆ あわせて、地震や犯罪などから県民の命や財産を守ることができる社会、環境と地域経済の発展が両立できる持続可能な地域社会を築いていきます。

〈生涯の活躍を応援する社会のイメージ〉



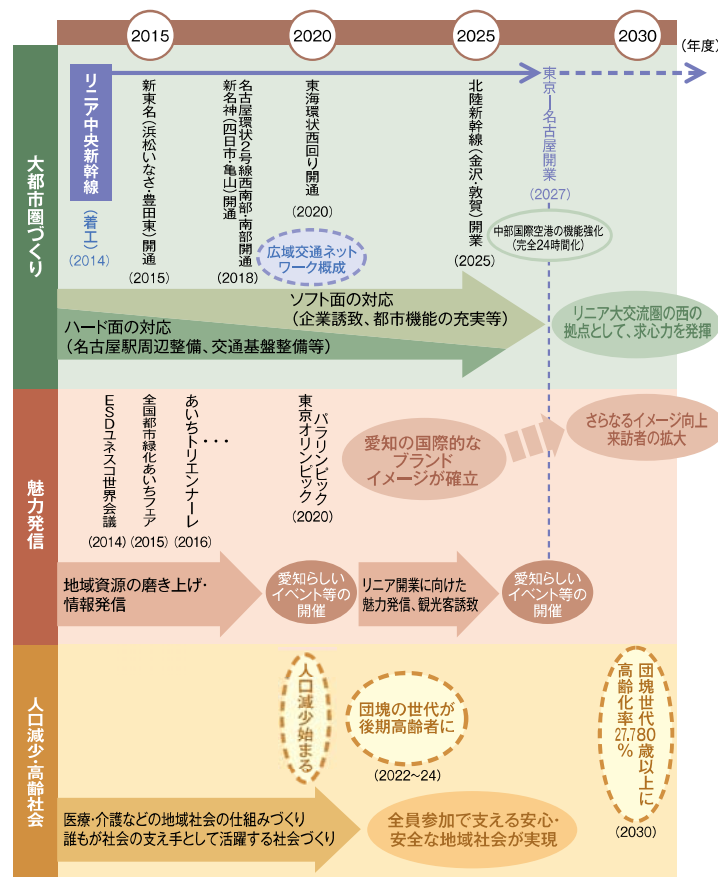
中長期的な展望を 1. 持った地域づくり

- ◆ 2020年頃に中京大都市圏の広域道路ネットワークが概成するとともに、2020年には、東京オリンピックが開催され、2027年度にはリニア中央新幹線が開業します。この2020年、2027年を念頭におきながら、戦略的に大都市圏づくりを進めていきます。
- ◆ 2020年頃には人口のピークを迎え、2022年～24年には団塊の世代が後期高齢者となります。こうした人口構造の変化を念頭におきながら、安心・安全に暮らせる地域社会の仕組みの構築や、誰もが社会の支え手として活躍していくための人づくり、社会づくりに取り組んでいきます。

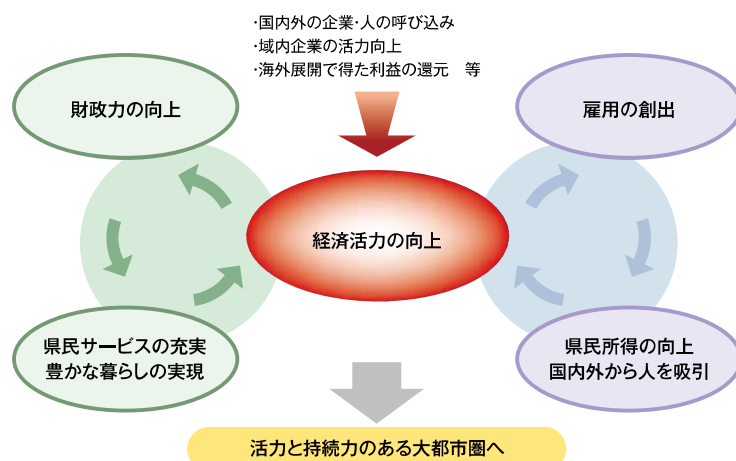
2. 経済活力と豊かな暮らしの好循環

- ◆ 国内外から企業や人を呼び込み、経済活動の活発な地域にすることによって財政を豊かにし、医療、福祉、教育など県民サービスを向上させ、県民の豊かな暮らしの実現につなげていきます。
- ◆ こうした活発な経済活動により、新たな雇用が生み出され、県民の所得が向上するとともに、国内外から人を呼び込み、新たな市場や産業が生まれていきます。
- ◆ このような経済活力と県民の豊かな暮らしの好循環のもとで、活力と持続力のある大都市圏として発展していきます。

〈地域づくりの考え方イメージ〉



〈経済活力と豊かな暮らしの好循環のイメージ〉



3. 「あいちビジョン2020」の基本目標

日本一の元気を暮らしの豊かさに

Ⅳ 重要政策課題と主要な政策の方向性 1~6

1. 中京大都市圏 ～5千万人リニア大交流圏の西の拠点となる大都市圏に向けて

リニア開業効果を高める交通ネットワークの形成や国際交流基盤の整備・機能強化、名古屋都心部等への高次都市機能の集積、自立した大都市圏づくりなどに取り組みます。



(東海旅客鉄道(株)提供)

リニア中央新幹線

- リニア中央新幹線の整備促進や名古屋駅から鉄道による40分交通圏の拡大
- 新東名高速道路、三遠南信自動車道、名古屋環状2号線、名豊道路、西知多道路等の整備促進
- 名古屋都心部への高次都市機能の集積
- 中部国際空港の二本目滑走路(完全24時間化)を始めとする機能強化や名古屋港、三河港、衣浦港の機能強化
- 自立する大都市圏に向けた取組と中京都構想の推進

など

2. グローバル展開 ～世界から活力を取り込める地域に向けて

県内企業の海外展開支援や海外からの投資促進を図るとともに、グローバル人材の育成・獲得や、外国人が暮らしやすい環境づくりなどに取り組みます。



ベトナムに進出する企業との意見交換会(2014年2月)

- 「あいち国際ビジネス支援センター」で県内企業の海外展開を総合的にサポート
- タイのバンコクに新たな「海外産業情報センター」を開設(2014年4月)し、県内企業の海外展開支援等を実施
- 学校教育における実践的な英語力の強化
- アジア地域からの技術系留学生などの獲得
- 教育や医療・福祉の充実など外国人が暮らしやすい環境づくり

など

3. 産業革新・創造 ～日本の成長をリードする最強の産業県に向けて

自動車や航空宇宙をはじめ多様な産業の育成・振興、立地環境の整備、中小・小規模企業振興、産業人材の育成・確保などに取り組みます。



あいちシンクロtron光センター

あいち産業科学技術総合センター

知の拠点あいち

- 「知の拠点あいち」での産学行政連携による研究開発の推進
- 豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成事業や水素ステーション・充電インフラ整備等による自動車産業の振興
- 国際戦略総合特区「アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区」の推進
- 「産業空洞化対策減税基金」に基づく企業立地、研究開発等への支援
- 工業教育の中核となる愛知総合工科高等学校新設(2016年度予定)

など

4. 農林水産業 ～競争力ある農林水産業に向けて

6次産業化や輸出促進による農林水産業の市場の拡大・経営革新、農地の利用集積や新技術・新品種の開発による生産性の向上、多様な担い手の確保・育成などに取り組みます。



香港における現地バイヤーとの商談会(2013年11月)

- 農林水産物の加工・販売、農家レストランの開設など、6次産業化の推進
- 農林水産業国際競争力強化センターを中心とした農林水産物等の輸出促進
- 県が指定した「農地中間管理機構」を活用した農地の利用集積など農地の合理的な利用の推進
- 農業総合試験場や森林・林業技術センター、水産試験場における新技術や新品種の開発の推進
- 「農起業支援センター」における新規参入希望者への支援など

5. 文化・スポーツ・魅力発信 ～世界から人を惹きつける魅力ある大都市圏に向けて

現代芸術の創造発信、全国・世界に打ち出せるスポーツ大会の育成・招致、地域魅力の発信・向上、国内外からの誘客促進などに取り組みます。



FIFAフットサルワールドカップ2020の招致意向表明(2014年4月)

- 「あいちトリエンナーレ」の継続開催
- 「マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知」や「新城ラリー」等の育成とトレイルランニングやウルトラマラソン等新たな大会の立ち上げや招致
- 産業観光、武将観光の推進
- 「なごやめし」の戦略的PR、ポップカルチャー等による地域の活性化
- 「持続可能な開発のための教育(ESD)」に関するユネスコ世界会議」や「技能五輪全国大会・全国アビリンピック」に続くMICEの誘致・開催など

6. 教育・人づくり ～前向きに挑戦し、キャリアアップできる人づくりに向けて

子どもたちの確かな学力・体力の育成や道徳性・社会性の向上に取り組むとともに、若者の課題解決能力や社会的自立ができる力の育成、就業支援や職業能力開発などに取り組みます。



「ものづくりスキルアップ講座」で技能を学ぶ工業高校の生徒

- 少人数学級、少人数指導等による確かな学力の育成や道徳教育の充実
- 小・中・高等学校を通じたキャリア教育の充実
- 「県立高等学校教育改革基本計画」(仮称)の策定・推進
- 新たな公立高等学校入試制度の実施(2017年度入学者選抜から)
- 就労支援や職業能力開発の充実

など

Ⅳ 重要政策課題と主要な政策の方向性 7~12

7. 女性の活躍 ～女性が元気に働き続けられる社会に向けて

働く場における女性の定着と活躍の場の拡大、再就職・起業の支援に取り組むとともに、ワーク・ライフ・バランスの推進などに取り組みます。



あいち子育て女性再就職サポートセンター開設(2014年5月)

- 「あいち女性の活躍促進会議」の開催による、女性の活躍に向けた企業等の意識改革・取組の促進
- 女性管理職養成等の人材育成の強化
- 「あいち子育て女性再就職サポートセンター」の設置
- 女性の起業を支援するセミナーの開催や女性起業家・経営者のネットワークづくり
- 「愛知県ファミリー・フレンドリー企業」の登録拡大

など

8. 子ども・子育て応援 ～少子化の流れを変える社会に向けて

妊娠・出産支援や子ども・子育て家庭への支援に取り組むとともに、子育てしやすい環境づくりなどに取り組みます。



子育て応援の日(はぐみんデー)イベント(2013年11月)

- 妊娠・出産に関する意識啓発や健康教育
- あいち小児保健医療総合センターを中核とした小児救急医療体制の構築
- 病児・病後児保育など、多様な保育サービスの充実
- 放課後児童クラブ(学童保育)の整備促進
- 2014年4月からの消費税率の引き上げに伴う影響を緩和する「子育て支援減税手当」の給付

など

9. 健康長寿 ～「人生90年時代」を健康に生きられる社会に向けて

生涯を通じた健康づくりや、シニア世代の社会参加を促進していくとともに、地域医療の確保、支援が必要となっても安心して暮らせる地域づくりなどに取り組みます。



「あいち健康の森」における薬草園の整備イメージ

- がん検診・健康診査の受診率向上などによる疾病の早期発見・重症化予防
- 「あいち健康の森」における薬草園の整備と健康プログラム、介護予防プログラムの創出
- 元気なシニア層の就労、地域活動などへの社会参加の促進
- 大学と連携した医師育成・派遣体制の強化や、再就業支援などによる医師・看護師の確保
- 地域包括ケアシステム構築に向けたモデル事業の実施、県内全域への普及

など

10. 障害者支援 ～身近な地域で共に暮らせる新しい社会に向けて

特別支援教育の充実や、障害のある人の地域生活・療育・就職支援に取り組むとともに、活躍の場の拡大などに取り組みます。



特別支援学校におけるスクールバス

- 新たな特別支援学校の設置・検討、長時間通学解消のためのスクールバスの増車の検討
- 「障害者福祉減税基金」を活用した民間法人による重症心身障害児者のための施設の整備支援
- 心身障害者コロニーの再編による「療育医療総合センター」（仮称）の整備
- 職業訓練や職業教育の充実などによる就労の支援
- 障害者アートや障害者スポーツの推進

など

11. 防災・防犯 ～災害や犯罪に負けない、強靱な県土・安全なまちづくりに向けて

南海トラフの巨大地震や風水害などの災害対策に取り組むとともに、安心安全な交通環境の実現、犯罪がなく安心して暮らせる地域づくりなどに取り組みます。



愛知県・稲沢市総合防災訓練（2013年9月）

- 住宅や学校施設、大規模建築物、避難路沿道建築物等の耐震化の促進
- 河川改修や海岸保全施設等の整備、地域協働型のハザードマップの作成、土砂災害警戒区域等の指定推進
- 基幹的広域防災拠点の整備促進
- 歩道等の整備や通学路の安全対策など、安全な道路交通環境の整備
- 子ども・女性・高齢者等の防犯対策の充実

など

12. 環境・持続可能まちづくり ～100年持続可能な次世代のまちづくりに向けて

持続可能なエネルギー社会の構築や「環境首都あいち」の実現に向けた事業展開、社会資本の計画的・効率的な維持管理・更新、運用などに取り組みます。



農業用水を利用した小水力発電施設（新城市四谷地区）

- 住宅用太陽光発電設備の導入促進や農業用水を利用した小水力発電の導入促進
- 県民一人ひとりの環境配慮行動（エコアクション）の促進
- 持続可能な開発のための教育（ESD）の取組促進
- 長寿命化やICTの活用などによる社会資本の計画的で効率的な維持管理・更新
- 愛知県道路公社が管理する有料道路へのコンセッション方式の導入など公共施設、社会インフラへの民間活力の導入

など

V 地域別の取組方向

尾張・西三河・東三河 3地域における広域的な視点に立った地域づくり

- ◆ 交通ネットワークや情報通信の発達などに伴って、日常生活や産業活動のエリアが市町村の区域を越えて広がる中、広域的な視点に立った地域づくりが必要となっています。
- ◆ あいちビジョン2020では、木曾川・矢作川・豊川の3つの河川を軸に、歴史、文化、生活、産業経済等の強い結びつきを持つ、尾張・西三河・東三河の3つの大きな地域ごとに、めざすべき将来像と主な政策を示します。

県内外の地域間連携

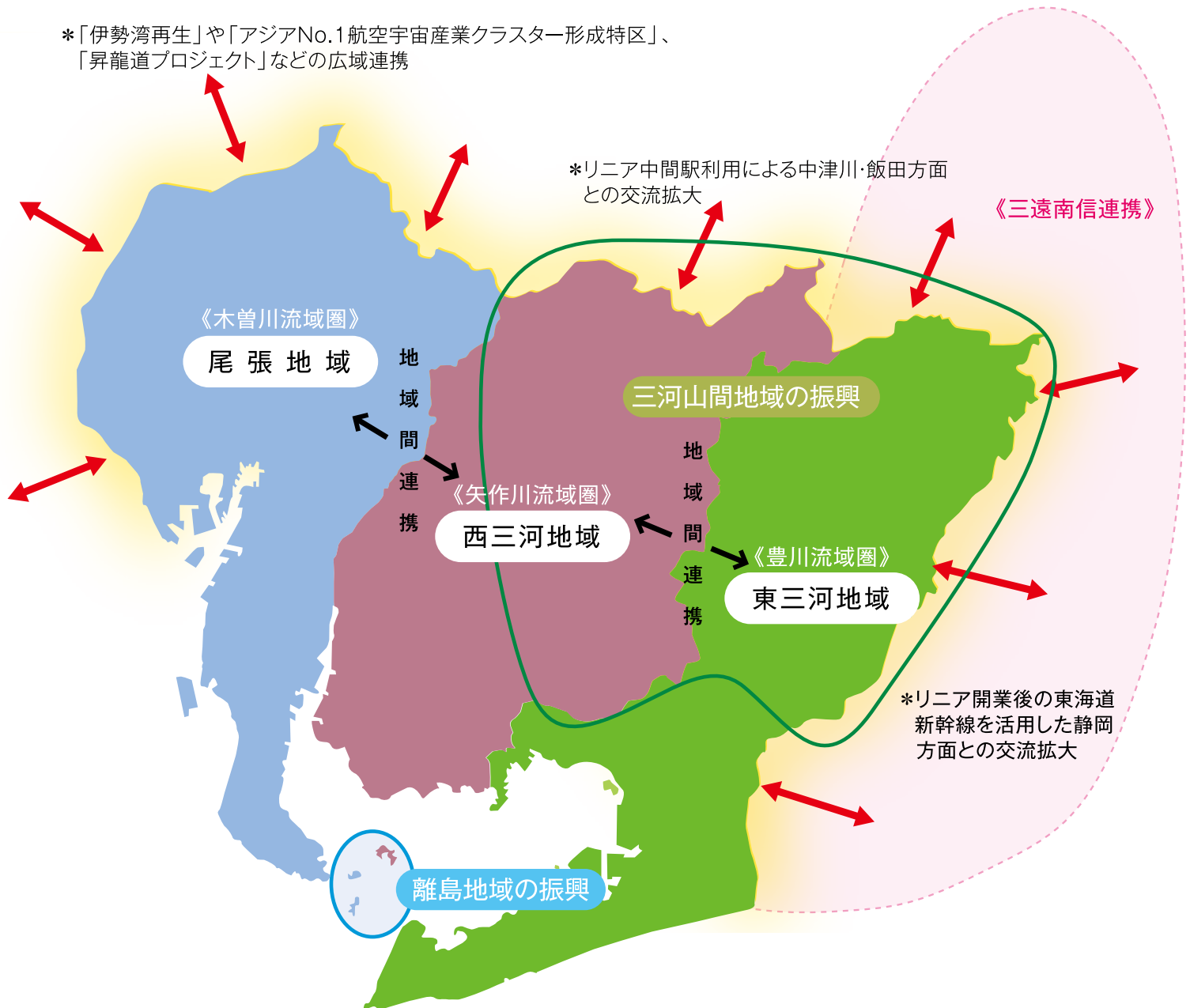
- ◆ 生活圏が尾張・西三河・東三河各地域の圏域を越え、また、産業活動の広域化が今後さらに進展していく中、3地域が、それぞれの役割・機能を果たしつつ、地域間の連携・協力をより一層密にしていくことが重要となります。
- ◆ 「三遠南信連携」をはじめ、「伊勢湾再生」や「アジアNo.1 航空宇宙産業クラスター形成特区」、「昇龍道プロジェクト」、さらには、リニア中間駅の利用による中津川・飯田方面との交流拡大、リニア開業後の東海道新幹線を活用した静岡方面との交流拡大など、県域を越えた連携・協力に取り組んでいきます。

三河山間地域等の振興

- ◆ 厳しい地理的条件のもと少子高齢化や人口減少が急速に進む三河山間地域や三河湾の離島については、豊かな自然や魅力的な観光資源を有し、県土保全、水源の涵養、地球温暖化の防止、木材や水産物の供給など様々な面で重要な役割を担っており、県全体でこうした地域を支えていくことが必要です。
- ◆ 特に、三河山間地域については、新東名高速道路や三遠南信自動車道等の広域幹線道路の整備等を生かし、暮らしを支える生活基盤づくりを着実に進め、豊かな自然環境と魅力的な地域資源を生かした新しいライフスタイルを実践できる地域づくりに取り組んでいきます。

〈地域づくりのイメージ〉

*「伊勢湾再生」や「アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区」、
「昇龍道プロジェクト」などの広域連携



めざすべき将来像

尾張地域には、首都圏から中京圏に及びリニア大交流圏の西の拠点となる「中京大都市圏」の中核として、高い求心力と世界的な交流拠点性を持つとともに、リニア開業の効果を圏域全体に波及させていくことが求められます。

世界につながる玄関口としての機能を高めつつ、大都市の多様な魅力の創出や次世代産業の育成、利便性の高い居住環境の形成を通じ、世界に開かれた、人・モノ・情報が活発に行き交う大都市地域をめざします。

**リニア開業のインパクトを受け止め、世界に開かれた、
人・モノ・情報が活発に行き交う大都市地域**



地域づくりの方向性と主な政策

1. 世界とつながる玄関口としての機能強化

- 高次都市機能の集積
 - ◎名古屋駅のスーパーターミナル化の促進
 - ◎名古屋駅周辺のコンベンション施設やビジネス支援機能の拡充など高次都市機能の集積の促進
- 中部国際空港の機能強化
 - ◎LCCの受入環境の整備や二本目滑走路(完全24時間化)を始めとする機能強化
- 港湾機能の強化
 - ◎「国際産業ハブ港」の実現に向けた名古屋港のコンテナターミナル等貨物取扱機能強化
- 広域交通基盤の整備
 - ◎名古屋環状2号線、西知多道路の整備促進

2. 大都市名古屋をはじめ、各都市の魅力を生かした地域の賑わいの創出

- 名古屋港の賑わいの創出
 - ◎「名古屋市国際展示場」の機能強化や大規模集客施設の整備促進
- 芸術・文化、スポーツ大会等を生かした魅力づくり
 - ◎「あいちトリエンナーレ」の継続開催
 - ◎ポップカルチャー等の文化発信
 - ◎産業観光や武将観光の推進
 - ◎「マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知」などスポーツイベントの開催支援
- 地域の賑わいの創出
 - ◎中部臨空都市における商業施設等の誘致
 - ◎「愛・地球博記念公園」の野外音楽施設等の整備

3. 次世代産業の育成・強化と地域産業の活性化

- 次世代産業や都市型産業の育成
 - ◎「アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区」の推進
 - ◎ITベンチャー企業の育成
- 地域産業の高度化
 - ◎「あいち産業科学技術総合センター」における繊維・窯業など地域産業への技術支援
- 企業立地の推進
 - ◎企業立地促進法に基づく「西尾張地域基本計画」及び「東尾張地域基本計画」に沿った企業立地の推進
- 農林水産業の振興
 - ◎都市近郊農業の6次産業化・農商工連携の推進
 - ◎ノリやアサリの増殖技術の開発など水産業の振興

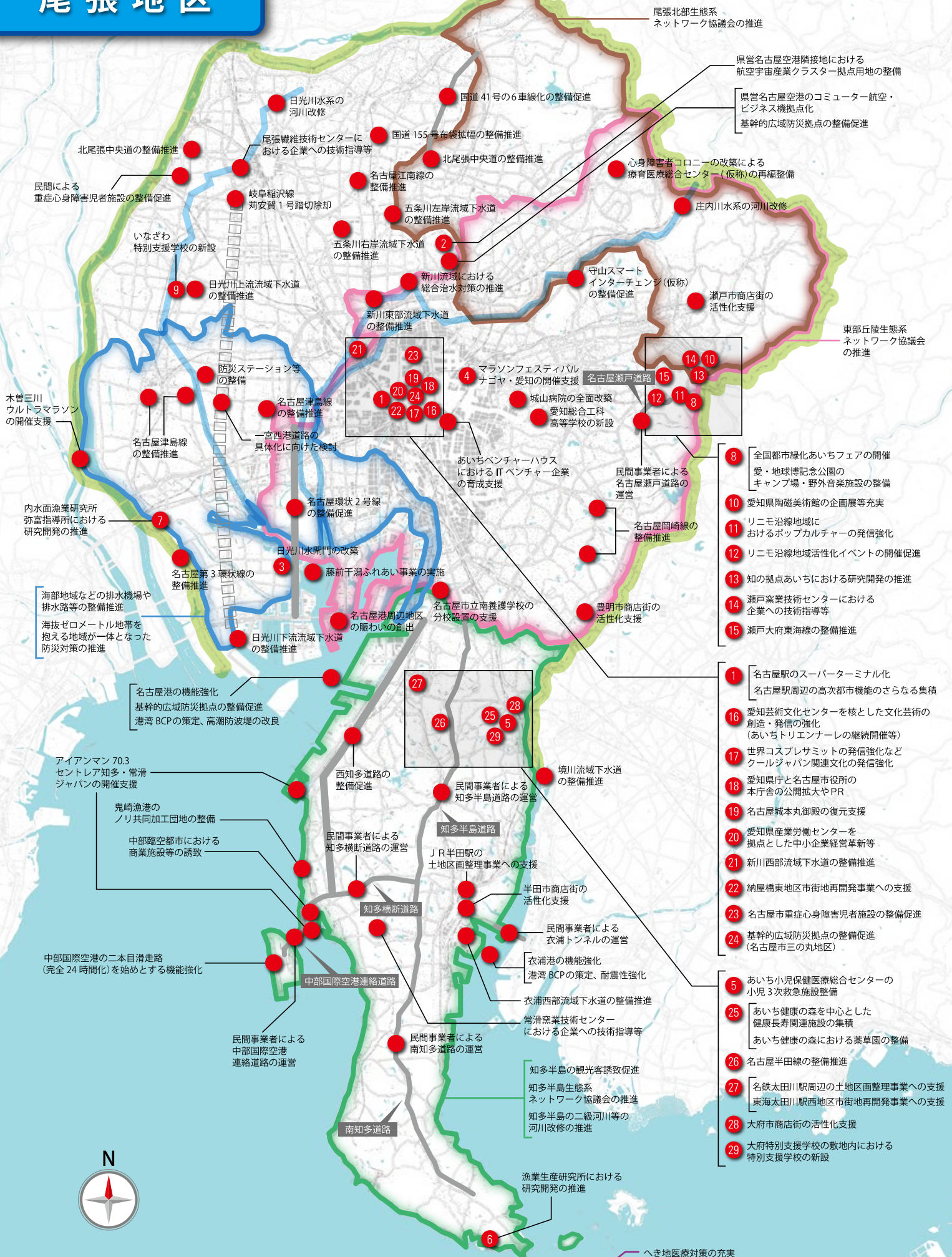
4. 大都市地域としての利便性を生かした、質の高い快適な暮らしを支える基盤づくり

- 域内交通基盤の整備
 - ◎名古屋からの放射状道路や環状道路の整備
 - ◎国道41号の6車線化の整備促進
- 都市基盤・生活環境等の整備
 - ◎流域下水道の整備
 - ◎土地区画整理事業の推進
- 拠点機能を担う医療・福祉施設等の整備など地域医療の充実・強化
 - ◎「薬草園」の整備
 - ◎「あいち小児保健医療総合センター」の小児3次救急施設の整備
 - ◎「心身障害者コロニー」の再編整備
 - ◎「城山病院」の全面改築
 - ◎離島のへき地医療対策

5. 災害に強く安心・安全に暮らせる地域づくり

- 地震防災対策の推進
 - ◎基幹的広域防災拠点の整備促進
 - ◎社会インフラの耐震化や津波対策の強化
 - ◎緊急輸送を担う道路網の整備
 - ◎名古屋港の防災機能強化と港湾BCPの策定
- 治水対策の推進
 - ◎日光川水閘門の改築
 - ◎海部地域等の排水機場や排水路などの整備
 - ◎新川流域における総合治水対策の推進、庄内川水系や日光川水系等の河川改修

尾張地区





① 名古屋駅のスーパーターミナル化



② 県営名古屋空港隣接地における航空宇宙産業クラスター拠点用地で生産予定のMRJ（写真 / MRJ 飛行試験機初号機）



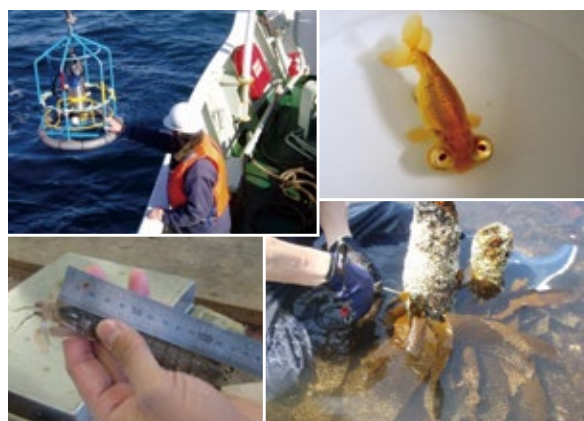
③ 日光川水閘門の改築（左上 / 水閘門イメージパース）



④ マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知の開催支援
(株)中日新聞社 提供



⑤ あいち小児保健医療総合センターの小児3次救急施設整備（イメージパース）



⑥ ⑦ 漁業生産研究所、内水面漁業研究所弥富指導所における研究開発の推進



⑧ 2015年に全国都市緑化あいちフェアが開催される愛・地球博記念公園（左上 / 公式キャラクター モリゾーキッコロ）



⑨ 特別支援教育の充実
(いなざわ特別支援学校 2014年4月開校)

めざすべき将来像

西三河地域には、世界的なモノづくりの拠点として、本県の成長エンジンとしての役割を担うとともに、活発な産業活動と質の高い生活空間を両立する地域として発展していくことが求められます。

モノづくりの中枢性を高めながら、活発な産業活動と両立する持続可能な地域づくりを進めるとともに、多様な地域資源を生かした魅力の創造・発信、地域内外を結ぶ交通基盤や安全で質の高い快適な暮らしを支える生活基盤の整備を通じ、次世代のモノづくりと先進的な環境の取組が調和した活力ある地域をめざします。

**愛知の成長を牽引する次世代のモノづくりと
先進的な環境の取組が調和した活力ある地域**



地域づくりの方向性と主な政策

1. 次世代のモノづくりを牽引する産業の中核性の維持・強化

- 技術革新を支える研究開発機能の強化
 - 「豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成事業」の推進
 - 「知の拠点あいち」における研究開発の推進
- 次世代産業の育成・振興と地域産業の高度化の支援
 - 環境・新エネルギー、健康長寿産業の育成・振興
 - モノづくり中小企業の高度化や新規事業展開の支援
- 企業立地の推進
 - 企業立地促進法に基づく「西三河地域基本計画」に沿った企業立地の推進

2. 産業と自然が調和する環境先進地域の形成

- 環境やエネルギーをキーワードとしたまちづくりの促進
 - 「豊田市低炭素社会システム実証プロジェクト」の取組成果の普及促進
 - 次世代自動車の普及に向けた水素ステーションや充電インフラの整備促進
- 再生可能エネルギーの活用・普及
 - 下水汚泥等バイオマスのエネルギー利用の推進
 - 羽布ダムや明治用水等を利用した小水力発電の導入
- 自然環境の保全・再生
 - 「三河湾環境再生プロジェクト」の推進
 - 矢作川流域の上下流連携の支援

3. 産業や歴史、自然等を生かした地域の魅力の創造・発信

- 産業観光・武将観光の推進
 - 自動車産業や地場産業等を生かした産業観光
 - 徳川家ゆかりの史跡を生かした武将観光
- 歴史や文化、自然等を生かした観光振興
 - 足助の歴史的街並みや佐久島の現代アートなどを生かした観光振興
- 農林水産業を生かした地域の活性化
 - 6次産業化・農商工連携の推進
 - ウナギの資源保護対策やアサリの漁場整備など水産業の振興
 - 鳥獣被害防止対策の推進

4. 活発な産業活動と質の高い快適な暮らしを支える基盤づくり

- 広域交通基盤の整備
 - 新東名高速道路の整備促進とアクセス道路の整備
 - 名豊道路、衣浦豊田道路等の整備促進
- 港湾機能の強化
 - 衣浦港港湾計画に基づく港湾機能の強化
- 都市基盤・生活基盤等の整備
 - 土地区画整理事業の推進
 - 「油ヶ淵水辺公園」の整備
 - 「第二青い鳥学園」の移転改築
- 山間地域や離島の生活基盤の確保
 - 定住促進と集落活動の支援
 - バス路線等生活交通の確保
 - へき地医療対策

5. 災害に強く安心・安全に暮らせる地域づくり

- 地震防災対策の推進
 - 社会インフラの耐震化や津波対策の強化
 - 緊急輸送を担う道路網の整備
 - 衣浦港の港湾BCPの策定
- 治水対策の推進
 - 境川流域における総合治水対策の推進、矢作川水系等の河川改修
- 山間地域の防災対策の推進
 - 治山事業の推進
 - 土砂災害対策の推進

西三河



都市部と山間地域との交流イベントの実施
 山里の暮らしや魅力の情報発信
 山間地域への移住・定住促進
 山間地域の集落活動支援
 過疎バスの路線維持
 山間地域の情報インフラの維持・整備
 へき地医療対策の充実

- 7 知立駅連続立体交差事業の推進
- 9 産業技術センターにおける企業への技術開発支援
「燃料電池トライアルコア」における燃料電池の技術開発支援
- 10 山車文案を生かした観光振興の推進
- 11 名鉄三河線の充実・強化
- 12 名鉄知立駅周辺の土地区画整理事業への支援
知立駅北地区市街地再開発事業への支援
- 13 刈谷市商店街の活性化支援





① 豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成事業の推進
(東側イメージパース)



② 知の拠点あいちにおける研究開発の推進
(あいちシンクロtron光センター)



③ 豊田市低炭素社会システム実証プロジェクトの取組成果の普及促進
(とよたエコフルタウン 水素ステーション)



④ 羽布ダムを利用した小水力発電の導入



⑤ 内水面漁業研究所における研究開発の推進



⑥ 油ヶ淵の水環境改善と水辺公園の整備推進
(左上 / 油ヶ淵浄化デー 左下 / 油ヶ淵水辺公園ワークショップ)



⑦ 知立駅連続立体交差事業の推進 (知立駅周辺イメージパース)



⑧ 第二青い鳥学園の移転改築 (イメージパース)

めざすべき将来像

東三河地域には、遠州や南信州との交流の要となる愛知の東の拠点として、内在するポテンシャルを最大限に発揮し、域内外の連携を通じて、相互に補完し合い、相乗効果を引き出すことにより、地域力をより一層高めていくことが求められます。

東三河県庁のネットワークを軸にさらなる連携強化を図りながら、「ほの国」の魅力の創造・発信、農工商のバランスのとれた多様な産業の育成・強化を進めていくとともに、安全で質の高い生活環境の整備と奥三河の振興を通じ、都市と自然の近接性を生かした豊かさが実感できる暮らしと力強い産業が展開する地域をめざします。

**「ほの国」の魅力あふれる多彩な地域資源を生かし、
豊かさが実感できる暮らしと多様な産業が展開する地域**



地域づくりの方向性と主な政策

1. 豊かな自然をはじめ、地域資源を生かした東三河の魅力の創造・発信

- 広域観光エリアとしての魅力の向上・発信
◎「ほの国ブランド」の定着 ◎「新城ラリー」の開催支援 ◎「花祭」の保存・伝承
- 奥三河の交流居住の推進
◎「愛知県交流居住センター」を核にした都市部住民との交流イベントの開催
- 豊かな自然の保全・再生
◎「三河湾環境再生プロジェクト」の推進 ◎伊良湖休暇村公園の整備

2. 地域の特色を生かした多様な産業の育成・強化

- 次世代産業の育成・振興
◎次世代自動車産業、健康長寿産業、新エネルギー産業の育成・振興
- 企業立地の推進
◎企業立地促進法に基づく「東三河地域基本計画」に沿った企業立地の推進
◎市町村と連携した広域交通基盤の周辺地域等における新たな企業用地の開発
- 地元大学や(株)サイエンス・クリエイトなど産学行政の連携強化
◎新産業創出の支援 ◎「食農産業クラスター推進協議会」を核とする農商工連携の推進
- 農林水産業の振興
◎植物工場の実証支援 ◎木材供給システムの構築 ◎六条潟の保全・利用 ◎鳥獣被害防止対策の推進

3. 地域のポテンシャルを引き出し、産業と質の高い快適な暮らしを支える基盤づくり

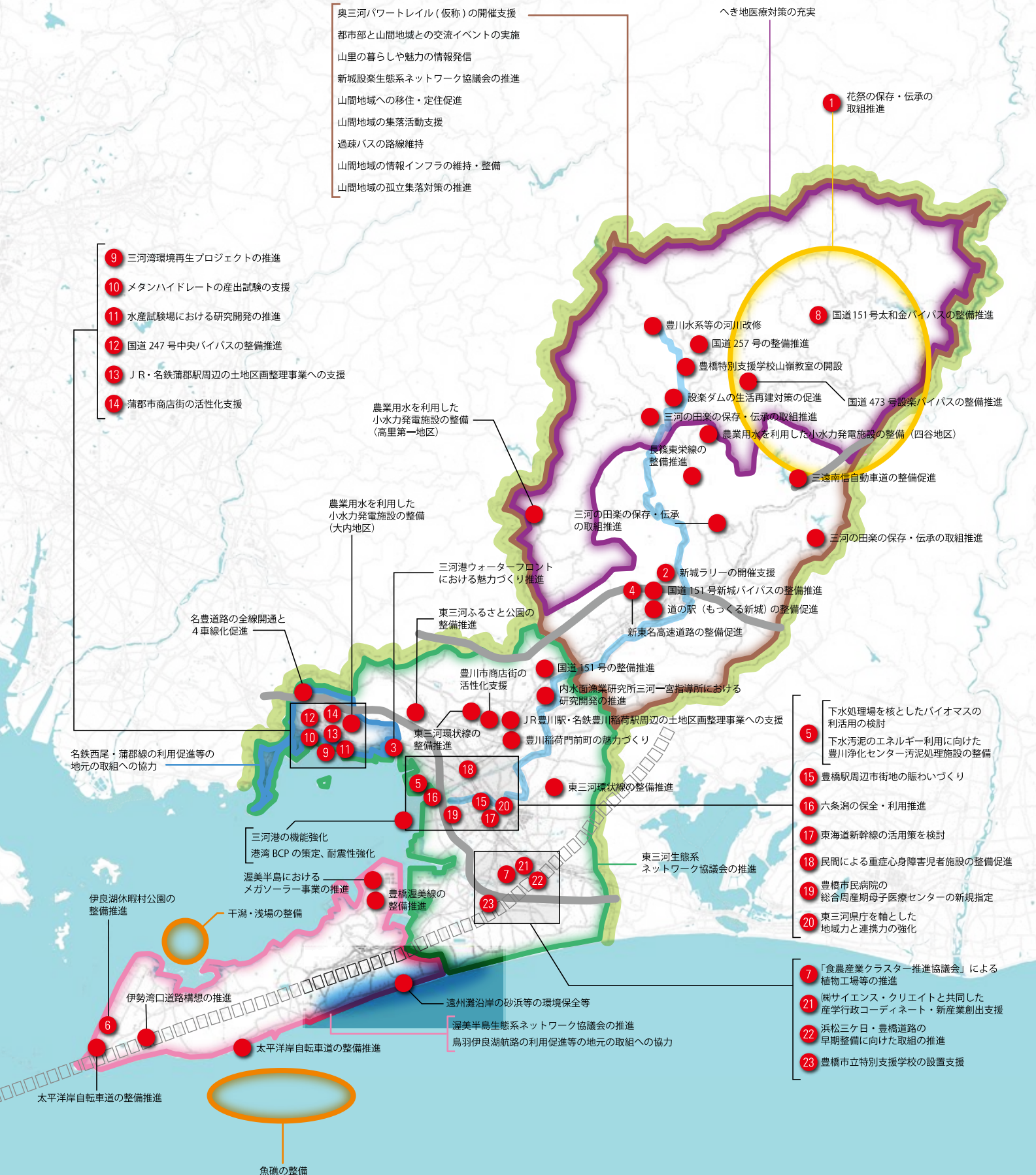
- 広域交通基盤の整備
◎新東名高速道路、三遠南信自動車道、名豊道路の整備促進 ◎「東三河1時間交通圏」の確立に向けた道路網の整備
- 港湾機能の強化
◎三河港港湾計画に基づく港湾機能の強化
- 再生可能エネルギーの活用
◎下水汚泥や間伐材等のバイオマス利用 ◎メガソーラー事業の推進
- 奥三河の生活基盤の確保
◎定住促進と集落活動の支援 ◎バス路線等生活交通の確保
- 地域医療の充実・強化
◎山間地域のへき地医療対策 ◎周産期医療体制の強化

4. 災害に強く安心・安全に暮らせる地域づくり

- 地震防災対策の推進
◎社会インフラの耐震化や津波対策の強化 ◎緊急輸送を担う道路網の整備 ◎三河港の港湾BCPの策定
- 治水対策の推進
◎豊川水系や三河湾に注ぐ二級河川等の改修
- 山間地域の防災対策の推進
◎治山事業の推進 ◎土砂災害対策の推進

5. 東三河県庁や地域の各主体が一体となって進める地域力と連携力の強化

- 東三河県庁を軸とした連携の強化と「東三河振興ビジョン」の推進
◎東三河県庁と市町村、地元経済団体等との連携強化 ◎「将来ビジョン」及び「主要プロジェクト推進プラン」の推進
- 三遠南信連携の推進
◎「三遠南信地域連携ビジョン」の推進





① 花祭の保存・伝承の取組推進



② 新城ラリーの開催支援



③ 三河港ウォーターフロントにおける魅力づくり推進
(蒲郡市大塚地区)



④ 新東名高速道路の整備促進 (新城 IC (仮称) 周辺 / 2014年5月)



⑤ 下水処理場を核としたバイオマスの利活用の検討
(写真 / 豊橋技術科学大学が中心で行っている豊川バイオマスパーク構想の実証実験 (豊川浄化センター))
(左 / メタン発酵施設 右 / バイオガスを活用したトマト栽培)



⑥ 伊良湖休暇村公園の整備推進 (イメージパース)



⑦ 「食農産業クラスター推進協議会」による植物工場等の推進
(植物工場における、空調・養液システム等を活用した高収量生産の実証実験)



⑧ 国道151号太和金バイパスの整備推進
(太和金トンネル北側 (豊根村) 坑口付近 (イメージパース))

VI さらなる交流の基盤となる道路ネットワークの整備

2020年に向けて、中京大都市圏の圏域内の結びつきを強め、さらに後背圏の拡大を図っていくため、新東名・新名神高速道路、三遠南信自動車道などの建設を促進するとともに、名古屋環状2号線、西知多道路など、国際物流・交流拠点へのアクセスの多重化を進めます。

また、渋滞緩和や地域内交流の促進を図るため、地域内交通の軸となる主要幹線道路の整備や立体交差事業なども進めます。



新東名高速道路 豊田東JCT～浜松いなさJCT(豊田東JCT 2014年5月)

〈愛知県幹線道路網図〉

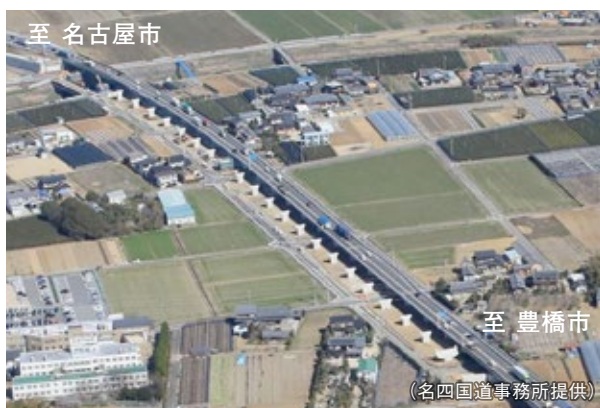




名古屋環状2号線 名古屋西JCT～飛島JCT(仮称)
西南部・南部区間(着色箇所は路線のイメージ)



三遠南信自動車道
鳳来峡IC(イメージパース)



名豊道路
岡崎バイパス中原IC付近(2014年3月)



西知多道路
東海JCT(イメージパース)



国道155号布袋拡幅
国道155号と名鉄犬山線交差部(イメージパース)



国道419号高浜立体
高浜市碧海町(2014年5月)



国道473号設楽バイパス
岩古谷トンネル西側(設楽町和市)坑口付近(2014年5月)



県道東三河環状線
豊川市大崎町～三蔵子町(点線は路線のイメージ)

2011年度(平成23年度)

4月	市町村合併により新「西尾市」スタート(西尾市、一色町、吉良町、幡豆町) 金融懇談会の設置・開催 あいちガンパロー資金(震災対策緊急つなぎ資金)創設
5月	三河港湾計画改訂 愛知県電力・エネルギー対策本部設置 第2次愛知県食育推進計画「あいち食育いきいきプラン2015」策定 新あいち商店街プラン・新あいち知的財産プラン策定 食と緑の基本計画2015策定 リニア中央新幹線の整備計画決定、東海旅客鉄道株式会社に対して建設の指示 [LOVEあいちサポーターズ]創設。第1号として俳優の哀川翔氏に「あいち三河湾釣り大使」委嘱
6月	第9次愛知県交通安全計画策定 あいち健康福祉ビジョン策定 あいちのみどり2020～第5次愛知県緑化基本計画～策定 あいちの教育に関するアクションプランⅡ策定 愛知県被災者支援センター開設 あいち産業労働ビジョン2011～2015策定
7月	児童虐待の根絶に向けた知事と名古屋市長の共同アピール表明 地元経済界、連合愛知と連名で円高是正等に向けた緊急アピールを国、日銀等に実施 3府県2政令市(新潟県、新潟市、愛知県、名古屋市、大阪府)知事市長会議開催。「大都市の自立と自治」愛知宣言発表
8月	「知の拠点」ナノテクノロジー戦略推進地域が「国際競争力強化地域」に選定 あいち戦国姫隊結成 「あいちの離島・80日間チャレンジ!」チャレンジスタッフ決定 愛知県・新城市総合防災訓練実施
9月	「最近の為替レートと踏まえた緊急円高対策」決定(県産業雇用対策推進本部会議) アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区推進協議会発足 2014年の「ESDに関するユネスコ世界会議」開催地が「愛知県・名古屋市」に決定 浜岡原子力発電所の安全確保に係る連絡体制に関する中部電力株式会社との覚書交換
10月	愛知県防災局防災情報Twitter(ツイッター)開設 あいち・なごや「いきもの交流フェスタ」開催 生物多様性自治体ネットワーク設立 愛知県・南知多町津波・地震防災訓練実施
11月	自動車税制の抜本的な見直しによる超円高・国内空洞化対策の実現を求める緊急声明 愛知県庁本庁舎公開イベント開催 愛知県沿岸市町村等津波対策推進協議会設立 名古屋高速道路(木場～東海JCT間)開通 ESDユネスコ世界会議開催に向けた支援準備委員会設立
12月	海部俊樹氏、鈴木禮治氏、豊田章一郎氏、野依良治氏に対する「愛知県名誉県民」の顕彰式 ジビエ・グルメ・グランプリ(GGG)開催 太田川駅付近連続立体交差事業高架化完成 定例知事記者会見のライブ中継(USTREAM配信)開始 「アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区」が国際戦略総合特区に指定(愛知県・岐阜県) 行革大綱に係る重点改革プログラム策定
1月	長久手市(旧愛知郡長久手町)市制施行 あいち仕事と生活の調和行動計画策定 「第67回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会」(ゆめリンク愛知国体)開催
2月	中京独立戦略本部会議の設置・開催 フラワーマルシェ開催 独立行政法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)と航空分野に係る連携協力協定締結 知の拠点あいち「あいち産業科学技術総合センター」開設 「あいちの四季の魚」選定 あいち地球温暖化防止戦略2020策定
3月	三遠南信自動車道(鳳来峡IC～浜松いなさ北IC間)開通 あいち地域安全戦略2015策定 愛知フェアin香港開催 マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知2012開催 平成24年度電力・エネルギー政策パッケージ決定 愛知県飛行研究センター及びJAXA名古屋空港飛行研究拠点披露記念式典開催 あいち自動車産業イノベーションプラン策定 愛知県住生活基本計画2020策定 愛知県廃棄物処理計画(平成24年度～28年度)策定 あいち地域文化創造戦略策定 第5期愛知県高齢者健康福祉計画策定 第3期愛知県障害福祉計画策定



「ジビエ・グルメ・グランプリ(GGG)」開催(12/3)



愛知県飛行研究センター及びJAXA名古屋空港飛行研究拠点披露記念式典開催(3/22)

2012年度(平成24年度)

4月	東三河県庁スタート及び新城森林総合センター開所 あいち医療通訳システム開始 農起業支援センターを県内8か所に設置 境川・猿渡川の流域を特定都市河川流域に指定 産業空洞化対策減税基金による企業立地・研究開発補助制度創設 東三河ビジョン協議会の設置・開催
5月	知事・名古屋市長による観光プロモーションイベントを東京で開催 大規模災害時における消防団活動のあり方検討会開催 あいち国際戦略会議の設置・開催 ESDユネスコ世界会議あいち・なごや支援実行委員会設立 教育懇談会の設置・開催
6月	あいちの地域包括ケアを考える懇談会設置・開催
7月	農林水産業国際競争力強化センター設置 タイ・バンコク都と相互協力に関する覚書締結 名古屋大学等と連携「防災・減災カレッジ」開催 技能五輪・アビリンピックあいち大会2014推進協議会設立総会開催 いじめの撲滅に向けた知事メッセージ～みんなの力でいじめをなくそう～発表
8月	産学官連携・愛知県農業用中小水力発電推進検討委員会の設置・開催 「三河湾環境再生シンポジウム」琵琶湖とともに三河湾を考えるー開催 民間事業者による有料道路事業の運営に関する検討会の設置・開催 「あいちの文化探し隊キャンペーン」開始
9月	洪水・土砂災害に関する防災情報の携帯電話への配信開始 愛知県・豊田市総合防災訓練実施 「公共の場におけるモラル・マナー向上キャンペーン」キックオフイベント開催
10月	豊川保健所田原保健分室が田原市田原福祉センター内に移転し業務開始 愛知県障害者権利擁護センター開設 愛知県茶会開催 2012年国際航空宇宙展開催 愛知県中小企業振興基本条例施行 愛知県がん対策推進条例施行
11月	あいち花フェスタ2012開催 愛知県・田原市津波・地震防災訓練実施 豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成事業(東工区)鉄入れ式 「平成あいち戦国武将サミットinアスナル金山」開催 愛知県内一斉ノー残業デー運動実施 愛知ポップカルチャーフェスタinモリコロパーク開催
12月	音羽蒲郡有料道路(三河湾オレンジロード)無料開放 あいちトリエンナーレ2013企画発表会を東京で開催 愛知の幼児教育指針策定
1月	三河港とウラジオストク港を結ぶロシア航路開設
2月	南海トラフ巨大地震対策中部ブロック協議会広域連携防災訓練実施 知事・名古屋市長による観光プロモーションイベントを大阪で開催 リニモ沿線合同大学祭開催 愛知県環境学習等行動計画策定 微小粒子状物質(PM2.5)に係る注意喚起の情報提供開始
3月	知の拠点あいち「あいちシンクロトン光センター」開設 「日中漫画展」開催 文化芸術創造あいちづくり推進方針(改訂版)策定 あいち生物多様性戦略2020・自然環境の保全と再生のガイドライン策定 あいち自動車環境戦略2020策定 あいち国際戦略プラン策定 あいち歯と口の健康づくりハロニオ推進条例施行 健康日本21あいち新計画策定 愛知県地域保健医療計画見直し あいち自殺対策総合計画改定 配偶者からの暴力防止及び被害者支援基本計画(3次)策定 あいち多文化共生推進プラン2013～2017策定 愛知県生涯学習推進計画策定 新川西部流域下水道供用開始



ESDユネスコ世界会議あいち・なごや支援実行委員会設立(5/25)



愛知県茶会開催(10/8)

2013年度(平成25年度)

4月	企業立地促進法に基づく基本計画改訂 田原農業支援センター開所 羽布ダム竣工50周年記念式典開催
5月	愛知・名古屋産業立地推進プラン策定 田原1区、4区メガソーラー発電事業に係る土地賃貸借契約締結 あいち産業競争力会議開催 「あいち消防団の日」の制定及び「あいち消防団PR大使」任命
6月	開館35周年「愛知県陶磁美術館」新名称記念式典・記念イベント・特別企画展開催 四谷地区小水力発電施設完成式開催 愛・地球博記念公園「あいちサトラボ」開設 愛知県保育士・保育所支援センター開設
7月	愛知県がんセンター中央病院「外来化学療法センター」開設 改正愛知県青少年保護育成条例施行 愛知県次世代自動車充電インフラ整備・配置計画策定
8月	豊根村ヘリポート竣工式開催 あいちトリエンナーレ2013開催 全国中学校体育大会5競技を愛知県で開催 あいち次世代自動車インフラ整備推進協議会の設置・開催 豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成事業(中工期) 鉄入れ式 広域医療搬送訓練実施
9月	愛知県・稲沢市総合防災訓練実施 あいちシェイクアウト訓練実施 愛知県立芸術大学音楽学部新校舎完成記念式典開催 第32回全国都市緑化フェアの開催地が愛知県に決定 あいち女性の活躍促進プロジェクトチーム設置 ESDユネスコ世界会議1年前イベント「あいち・なごやESDフェスタ2013in名古屋」開催
10月	「アジアNo1航空宇宙産業クラスター形成特区」区域拡大指定(三重県まで) 「愛知のものづくりを支える留学生」受入開始 第100回中部圏知事会議を愛知県で開催 メグルグルメあいち開催
11月	「あいち多文化共生月間」制定 技能五輪・アビリンピックあいち大会2014 1年前イベント開催 B-1グランプリin豊川開催 愛知県・美浜町津波・地震防災訓練実施 ESDユネスコ世界会議1年前イベント「あいち・なごやESDフェスタ2013in尾張」開催 名古屋高速道路全線開通 中国・広東省と相互協力について合意 第32回全国都市緑化あいちフェア実行委員会設立 ESDユネスコ世界会議1年前イベント「あいち・なごやESDフェスタ2013in三河」開催
12月	愛・地球博理念継承・発展サポートセンター開設 ESD子どもフォーラム開催
1月	ESDイヤーキックオフイベント開催 あいち女性連携フォーラム設立 愛知県国民保護共同実動訓練実施 地域包括ケアシステム構築に向けた提言
2月	あいち女性の活躍促進会議の設置・開催 「日中漫画展in愛知」開催 あいち国際ビジネス支援センター開設 女性職員の活躍促進に向けた取組指針策定 愛知県水素ステーション整備・配置計画策定
3月	障害者ワークフェア in あいち開催 マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知において名古屋ウィメンズホールチェアマラソン初開催 「山・鈴・屋台行事」のユネスコへの提案決定(全国32件のうち愛知県5件) 第3期愛知県ホームレス自立支援施策等実施計画策定 愛知県特別支援教育推進計画(愛知・つながりプラン)策定 愛知県子ども読書活動推進計画(第三次)策定 衣浦港港湾計画改訂 あいちビジョン2020策定



B-1グランプリin豊川開催(11/9~10)



あいち女性の活躍促進会議の設置・開催(2/5)

2014年度(平成26年度)

4月	既存の戸建て住宅を障害者グループホームとして活用する場合の取扱要綱施行 愛知県子どもを虐待から守る条例施行 障害者福祉減税基金設置 バンコク産業情報センター開設 愛知県立いなざわ特別支援学校開校 愛知県立豊橋特別支援学校山嶺教室開設 FIFAフットサルワールドカップ2020の招致活動開始 愛知県河川海岸堤防等地震・津波対策事業促進協議会設立
5月	ESDユネスコ世界会議半年前イベント「あいち・なごやESDフェスタ2014in尾張」開催 ESDユネスコ世界会議半年前イベント「あいち・なごやESDフェスタ2014in三河」開催 第4次愛知県環境基本計画策定 リニアを見据えた鉄道ネットワークの充実・強化に関する検討会議の設置・開催 あいち子育て女性再就職サポートセンター開設 愛知県東海地震・南海地震・南海地震等被害予測調査結果公表
6月	子育て支援減税手当の申請開始 ESDユネスコ世界会議半年前イベント「あいち・なごやESDフェスタ2014in名古屋」開催 ピンポン外交記念モニュメント検討会の設置・開催 なごやめしPR懇談会の設置・開催 「アジアNo1航空宇宙産業クラスター形成特区」区域拡大指定(長野県・静岡県まで)
7月	皇太子殿下をお迎えして「第50回献血運動推進全国大会」開催 愛知県がんセンター愛知病院「地域緩和ケアセンター」開設
8月	三河湾大感謝祭開催

あいち・なごやESDフェスタ2014
in三河開催(5/17)

～あいちの産業～

愛知県の製造品出荷額等は約40兆円(平成24年)で36年連続全国一となっています。特に自動車を中心とする「輸送機械」が本県の製造業を牽引しており、こうした強い産業力を背景に、本県からの輸出額は約1兆4兆円(平成25年)で全国一となるとともに、貿易収支も7兆円(同年)を超える黒字となっています。

また、本県は工業や商業ばかりでなく、農業も盛んで、農業産出額は全国第6位となっています。中でも「花き」は昭和37年以降、51年連続で全国一となっており、その他にも「キャベツ」や「あさり類」をはじめ、全国一の農水産物も多く産出しています。

- 製造品出荷額等は約40兆円で36年連続全国一(平成24年)
- 愛知県からの輸出額は約1兆4兆円で全国一(平成25年)
- 商品販売額は約37兆円で全国第3位(平成23年)
- 農業産出額は約3,000億円で全国第6位(平成24年)

<全国シェア1位の業種(平成24年)>

業種	全国シェア	製造品出荷額等
輸送機械	38.0%	21兆4,869億円
業務用機械	16.2%	1兆1,210億円
鉄鋼	13.9%	2兆5,084億円
ゴム製品	13.2%	4,207億円
プラスチック	13.1%	1兆4,563億円
繊維	11.6%	4,563億円
窯業・土石	9.9%	6,766億円
生産用機械	9.6%	1兆4,903億円
家具・装飾品	9.4%	1,628億円

<全国シェア1位の農水産物(平成24年)>



キャベツ

しそ

ふぎ

いちじく

さく



洋ラン

ばら

うずら卵

あさり類

がどみ類

出典: 経済産業省「平成24年工業統計調査(確報)」
総務省・経済産業省「平成24年経済センサス活動調査(確報)」
名古屋税関「管内貿易概況」 愛知県「農業の動き」「水産業の動き」



AICHI VISION 2020

